

科目名	病理学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
病理学をととして、病気になった原因を探り、患者の身体に生じた変化を見極める。							
〔授業全体の内容の概要〕							
病理学総論は、退行性病変、循環障害、炎症、腫瘍など、疾病に共通する病変を学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
疾病の原因はどのようなもので、そのための組織にどのような変化を生じ、その結果どのような機能障害があらわれ、その機能回復にどのような支援が必要か、また、支援に伴うリスクを知る。							
回数	講義内容						
1	病理学とは						
2	病因論						
3	炎症と感染症						
4	腫瘍						
5	代謝異常、進行退行病変						
6	循環障害、免疫						
7	老化、先天性異常						
8	まとめ						
定期筆記試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学		

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験にて評価する。